



文部科学省 補助事業

産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業

採択プログラム



リ・バッテリー・アカデミー

キックオフシンポジウム

～産官学連携による蓄電池高度人材育成プログラム～

開催趣旨

早稲田大学では、文部科学省「産学連携リ・スキリング・エコシステム構築事業」に採択され、社会人向け蓄電池高度人材育成プログラム「リ・バッテリー・アカデミー～産官学連携による蓄電池高度人材育成プログラム～」を開講することとなりました。本プログラムでは、蓄電池の資源・材料・製造・評価・利用・循環・環境評価までサプライチェーン全体を俯瞰し、産業界で求められる高度専門人材の育成を目指します。

キックオフシンポジウムでは、リ・バッテリー・アカデミーの事業概要、受講方法およびプログラムの全体像を紹介するとともに、プログラムの中核となる「プロジェクト型演習」を担当する参画教員が、それぞれの研究室における蓄電池関連の研究内容について紹介いたします。受講をご検討される皆さまには、各研究室の特色や研究分野をご理解いただき、プロジェクト型演習で所属を希望する研究室を選択いただく機会とします。

早稲田大学の蓄電池研究を担う教員が一堂に会し、幅広い研究をご紹介します。蓄電池分野のリスキリングや共同研究、大学院進学等にご関心をお持ちの皆さまのご参加をお待ちしております。

ご案内サイト

日時 **2026年8月3日（月） 13:00-18:00**

会場 **早稲田大学121号館 リサーチ・イノベーション・センター
コマツ100周年記念ホール（ハイブリッド開催）**

対象 蓄電池関連企業およびその他の企業の社員、官公庁・自治体関係者、
蓄電池分野へのリスキリングを希望する方

https://cvc.smartcore.jp/C21/view_news/MzY0NjE2BQA



＜主催＞ 早稲田大学理工学術院

＜共催・後援＞ *調整中含む

循環バリューチェーン（CVC）コンソーシアム、SPEED研究会、電池サプライチェーン協議会（BASC）、
電池工業会（BAJ）

プログラム

●開会挨拶と事業説明（13:00-13:15） 所 千晴（全体統括 / 教授）

●研究紹介（13:15-17:30 発表時間：各15分）

時間	氏名	内容
13:15-	福重 真一 教授	ライフサイクルエンジニアリングに関する研究紹介
13:30-	伊坪 徳宏 教授	ライフサイクル環境評価学に関する研究紹介
13:45-	喜久里 浩之 准教授・林 泰弘 教授	電力・エネルギーネットワークに関する研究紹介
14:00-	紙屋 雄史 教授	環境・電気エネルギーに関する研究紹介
14:15-	大久保 将史 教授	蓄電デバイスに関する研究紹介
14:30-	門間 聡之 教授	応用電気化学に関する研究紹介
14:45-	國本 雅宏 准教授	機能表面化学に関する研究紹介
15:00-	野崎 達生 教授	資源地球科学に関する研究紹介
15:15-		休憩
15:30-	大内 隆成 准教授	環境・物理化学プロセスに関する研究紹介
15:45-	山口 勉功 教授	素材プロセス工学に関する研究紹介
16:00-	野田 優 教授	材料プロセス工学に関する研究紹介
16:15-	小柳津 研一 教授	機能性高分子材料に関する研究紹介
16:30-	草鹿 仁 教授	熱エネルギー・反応工学に関する研究紹介
16:45-	小野田 弘士 教授	環境配慮エネルギー・循環システムに関する研究紹介
17:00-	犬束 学 准教授	資源循環工学に関する研究紹介
17:15-	所 千晴 教授	環境資源処理工学に関する研究紹介

●個別相談会（17:30-18:00）

※その他、各講演の終了後30分間程度、
当該教員と個別相談の時間を設けます。

◆募集要項等はここらからご確認ください。

URL: <https://waseda.box.com/v/RBA-application-guidelines>

お問い合わせ：早稲田大学リ・バッテリー・アカデミー事務局（E-Mail：sci-edu-pj@list.waseda.jp）

■ リ・バッテリー・アカデミーの概要

1. 産官学のトップランナーによる最先端の講義

- ・早稲田大学の専任教員に加え、経済産業省やBASC会員企業の実務家を講師に迎え、電池のビジネス概論から製造技術、電池設計、リサイクルまで幅広く学びます。

2. 現場視察とプロジェクト型演習の実施

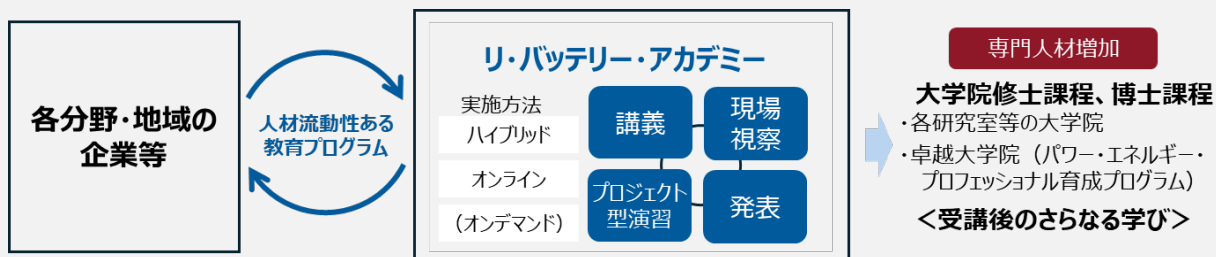
- ・講義だけでなく、蓄電池製造企業やリサイクル企業の現場視察を実施します。また、各研究室に所属して「プロジェクト型演習指導」を通じて、実践的な課題解決力を養います。

3. 大学院進学や共同研究・事業化へのステップアップ

- ・本プログラムは、社会人学生の大学院（修士・博士課程）への進学の機運を高めるとともに、企業と大学の共同研究や事業化へとつながる産学官連携高度人材を育成するように設計されています。

4. 働きながら学べる柔軟な受講スタイル

- ・受講はハイブリッド形式とし、一部はオンデマンドでの配信も予定しております。



■ シラバス（抜粋）

①オリエンテーション（1日）

- ・プログラム全体の概要、到達目標、評価方法の説明
- ・参画教員による研究室紹介、プロジェクト型演習のテーマ設定、研究室の決定

②電池産業概論に関する産官学連携講座（事前学習半日、対面講義1日）

- ・政府関係者による基調講演
 - 蓄電池・電源産業戦略、国内外の政策動向について学ぶ
- ・産業界専門家による蓄電池講義
 - 蓄電池の基礎知識、技術トレンド、電池ビジネスの最新動向、蓄電池の材料、製造、設計、評価・解析、資源、リサイクルに関する幅広い知識を学ぶ

③プロジェクト型演習（事前準備1日／回、対面指導1時間／回 全6回程度）

- ・各研究室にて、担当教員の指導のもと、受講者の専門性や所属企業の課題を踏まえた蓄電池に関連する調査・演習を実施
- ・講義内容を発展させ、共同研究、大学院進学、新規事業等につながる課題設定および解決策の検討

④現場視察（1日）

- ・蓄電池製造企業、材料メーカー、リサイクル施設、研究機関等を訪問し、最新の製造技術、研究開発、資源循環の実態を学ぶ

⑤成果発表会（1日）

- ・プロジェクト型演習の成果を発表し、教員・企業関係者との討議を通じて成果を共有するとともに、今後の研究・事業展開について検討

■ スケジュール

2026年7月～

- 関連企業等への周知

2026年10月

- オリエンテーション
- プロジェクト型演習のテーマ決め

2026年10月～

- 講義
- プロジェクト型演習
- 現場視察

2027年2月～3月

- シンポジウム形式での成果発表